

<全般>

- 一年を通して老若男女、障害のある人、子どもたちが利用できる施設にしていきたい
- 展示会以外のイベント(会議等)にも使える汎用性のある施設づくりをお願いしたい

<配置イメージ・諸室構成>

- 現4号館や緑地空間と一体利用がしやすい環境整備が必要
- 内部レイアウトは、これから検討することになると思うが、主催者室、セミナー室のほか、スタッフ控室、備品室など大小の部屋が必要
- 主催者室・商談室・控室などのほか、多数の椅子席が設置できる会議室を付帯していることが望ましい。ワークショップや講演などでの利用も見込まれ、施設の利用拡大につながる
- 工芸博や骨董市、アクセサリー展などでは、高い天井や大きな空間がそぐわないこともある。スモールスケールのブースやユニットがフィットする部屋が必要
- 大屋根スペースを整備することで、公園との一体感ある利用が可能になるとともに、一時的な雨や夏の強い日差し避けなど多様な効果が得られる



<搬入・来場者動線イメージ>

- 搬入動線(トラックヤード)は、大型トラックが転回できる十分なスペースが必要
- 大型トラックが展示ホール内に直接進入できることが望ましい。大型の搬入口の設置や進入待機車両のスペースなど、十分なスペースを確保することが重要
- 来場者動線について、駐車場から新産業展示館までの距離をできる限り短くすべき。ベビーカーや車いすの来場者にも十分配慮した対策を行っていただきたい

<その他>

- 展示会の場合は昼食時間を跨ぐので、飲食施設は不可欠。キッチンカーの出店スペースや、近隣に飲食施設が必要
- 施設の立地上、自家用車での来場者が多いので、十分な台数の駐車場を確保することが重要